

南湖生態系の順応的管理方法に関する研究（政策課題研究4）

生物多様性や生態系保全の順応的な管理方法を検討するため、生態系の複雑な機能や生物間の相互作用など、南湖全体を見据えて現状を評価する指標を検討し、個々の課題に対する短期的な対症療法ではなく長期的視野に基づいた保全・管理目標および施策事業を進めるための制度的手法等をガイドラインとして提示します。

[キーワード：水草の繁茂、在来生物と特定外来生物、生物多様性保全、順応的管理]

取組内容

[南湖生態系の評価指標と保全・管理目標の設定]

- 南湖生態系を構成する湖辺域や沿岸帯の微地形や水位変動による湖岸環境の変化、流れ藻や侵略的外来植物の分布あるいは、湖内での湖流や溶存酸素濃度の動向等全体像の現況を把握します。
- 南湖の現状課題への対応策検討の事例として水草を取り上げ、生理特性や遺伝子解析を行い生物多様性の観点から重要な情報を明らかにするほか、刈り取りの有無による比較や流況、水質等への影響について把握します。

サブテーマ名「南湖全体像の把握と水草管理に関する研究」

[順応的管理に向けた制度の基礎的把握および検討]

- 他の自治体の事例を中心に制度的手法を調査し、生物多様性保全のための条例・計画のあり方や住民参加の役割を検討します。
- 行政施策の立案や実施時に生物多様性保全への配慮を組み込むための仕組みや活用しやすい情報の整備を行うとともに、順応的管理のための体制や組織のあり方について検討します。

サブテーマ名「生物多様性保全のための制度的手法に関する研究」

研究全体のイメージ

